

いわき市立桶売小学校「学校だより」

おけけ



令和2年9月11日(金) 第23号 (発行者 校長 遠藤 修)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



実りの秋 ~収穫体験~



残暑厳しく夏のまま季節がとまったかのような毎日ですが、学校の畑は実りの秋。9日(水)の5校時にジャガイモとカボチャの収穫を行いました。ジャガイモは梅雨の長雨の影響で種イモが腐ってしまい、その後も生育不良で栽培が難しい年でした。収穫まで至ったのはうねの5分の1程度。昨年に比べてイモも小ぶりです。それでも収穫の喜びは変わりません。土の中から掘り出すと歓声があがりました。

一方、カボチャは大豊作。子ども達の顔より大きなカボチャを39個も収穫できました。たくさんのカボチャをどうやって食べようか…これから楽しい話し合いになりそうです。



畑にはまだサツマイモの「太白」と落花生が残っており、どちらも順調に育っています。こちらの収穫も今からとても楽しみにしています。

いわき芸術文化交流館「おでかけアリオス」 ~ピアノコンサート~



8日(火)、川前地区小中学校合同での「おでかけアリオス」ピアノコンサートを開催しました。

今年は、いわき市小名浜出身のピアニスト長瀬賢弘氏が来校し、ロシアの作曲家プロコフィエフの曲を演奏してくださいました。

児童生徒が互いに曲想を伝えあったり、手のひらや紙、乳酸菌飲料の瓶などの身近な物を使って演奏に参加したりしながら、作曲家の個性あふれる旋律を味わいました。



川前町もりあげ隊 NEWS

支所へのお願い

学習成果をまとめたブックを通して桶売の良さを多くの人に伝えたいという子ども達の願いも、ラトブでの宣伝活動が中止となって以来、叶えることができずにいました。

そこで、子ども達は、川前支所に協力をお願いして桶売地区の皆さんにブック「みんなの桶売」を配布しようと考えたようです。



「ドキドキ…大丈夫かな?」

支所に電話をかけると、支所長さん直々に子ども達の話を書いてくださいました。

原稿を準備し、緊張した表情で説明していましたが、快諾をいただき、ホッとした様子でした。

すこやか相談会



第2回のすこやか相談会を実施しました。

生活習慣が原因でおこる「生活習慣病」ですが、今や大人だけでなく、子どもにも身近なものとなっています。予防には食生活をはじめとする子どもの頃からの生活習慣がとても大切で、その先の一生の健康を左右するともいわれています。

本校では、養護教諭と栄養教諭が連携し、それぞれの専門的な立場から食事や運動、睡眠などについて相談の機会を設けています。

これから家庭との連携を十分に図りながら、子ども達の健康づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.088 μSV/h 9/11 7:40

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

